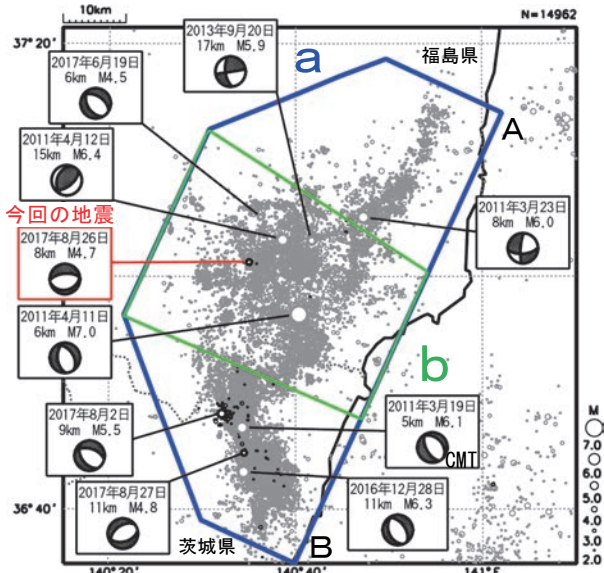


# 8 月 26 日 福島県中通りの地震

情報発表に用いた震央地名は〔福島県浜通り〕である。

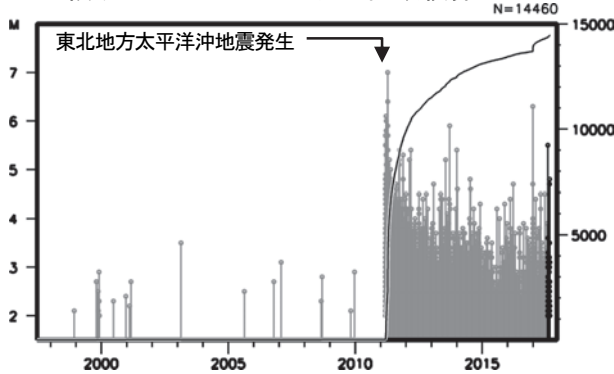
震央分布図  
 (1997 年 10 月 1 日～2017 年 8 月 31 日、  
 深さ 0～30km、 $M \geq 2.0$ )  
 2017 年 8 月の地震を濃く表示



2017 年 8 月 26 日 04 時 20 分に福島県中通りの深さ 8 km で M4.7 の地震（最大震度 3）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は南北方向に張力軸を持つ正断層型である。

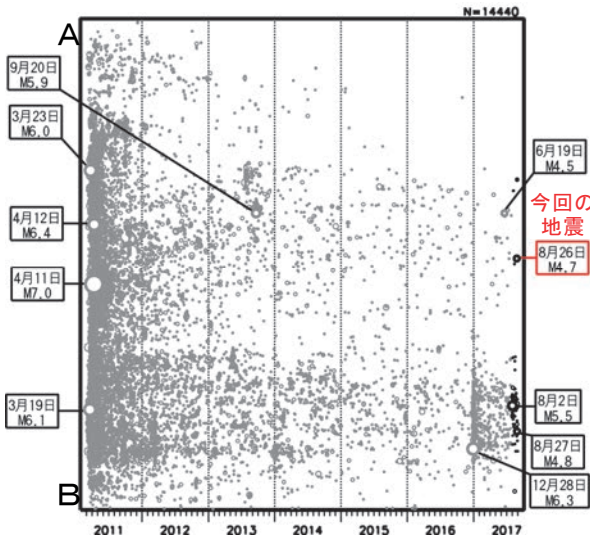
1997 年 10 月以降の活動をみると、福島県浜通り・中通りから茨城県北部にかけての地殻内（領域 a）では、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」（以下、東北地方太平洋沖地震）の発生以降に地震活動が活発化した。今回の地震の震央を含む領域 a の中部（領域 b）では、2011 年 4 月 11 日に M7.0 の地震（最大震度 6 弱）が発生し、死者 4 人などの被害があった（総務省消防庁による）。その翌日（4 月 12 日）に M6.4 の地震（最大震度 6 弱）、2013 年 9 月 20 日に M5.9 の地震（最大震度 5 強）が発生するなど、M4.0 以上の地震がしばしば発生するようになった。その後、地震活動は次第に減衰しているが、2017 年に入ってから M4.0 を超える地震が 2 回発生している。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 a 全体の地震活動は、消長を繰り返し徐々に低下してきているが、南部で 2016 年 12 月 28 日に M6.3 の地震（最大震度 6 弱）が発生した後に再び活発化し、現在も茨城県北部の活動域を中心にやや活発な活動が続いている。

領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)  
 (2011 年 3 月 1 日～2017 年 8 月 31 日、  
 深さ 0～30km、 $M \geq 2.0$ )  
 2017 年 8 月の地震を濃く表示



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

